

ワイヤロープの試行設置区間(広域図)

舞鶴若狭道
〔若狭三方IC～若狭美浜IC〕
1.5km

東海環状道
〔富加関IC～美濃関JCT〕
1.8km



紀勢道
〔勢和多気IC～大宮大台IC〕
1.1km

- 高速自動車国道 (営業中)
- - - 高速自動車国道 (建設中)
- 一般有料道路 (営業中)
- - - 一般有料道路 (建設中)

ワイヤロープについて

[ラバーポール]

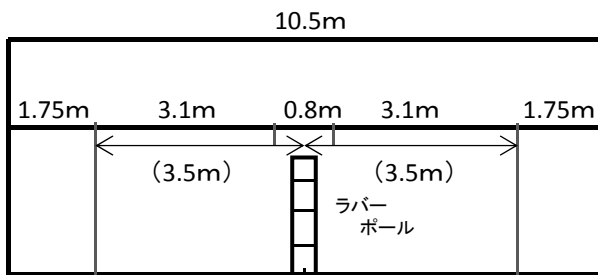


[ワイヤロープ]

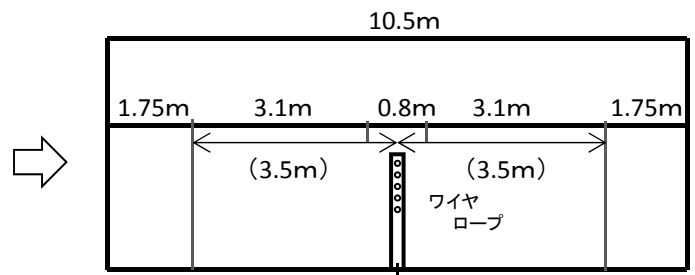


※ 写真は中央帯1.5mを確保して設置している事例

[現行]



[試行設置(案)]



【ワイヤロープの特徴】

①高い衝撃緩和性能

車両衝突時に中間支柱が倒れ、ワイヤロープのたわみが車両の衝撃を緩和して、安全に誘導。



車両が受ける衝撃を緩和

②狭い幅で設置が可能

細い支柱にワイヤロープを通してあるので、設置幅が少なく、既存幅員内で設置が可能。



細い支柱

③短時間で容易に開口部を設置

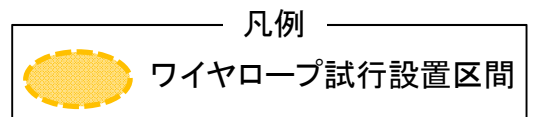
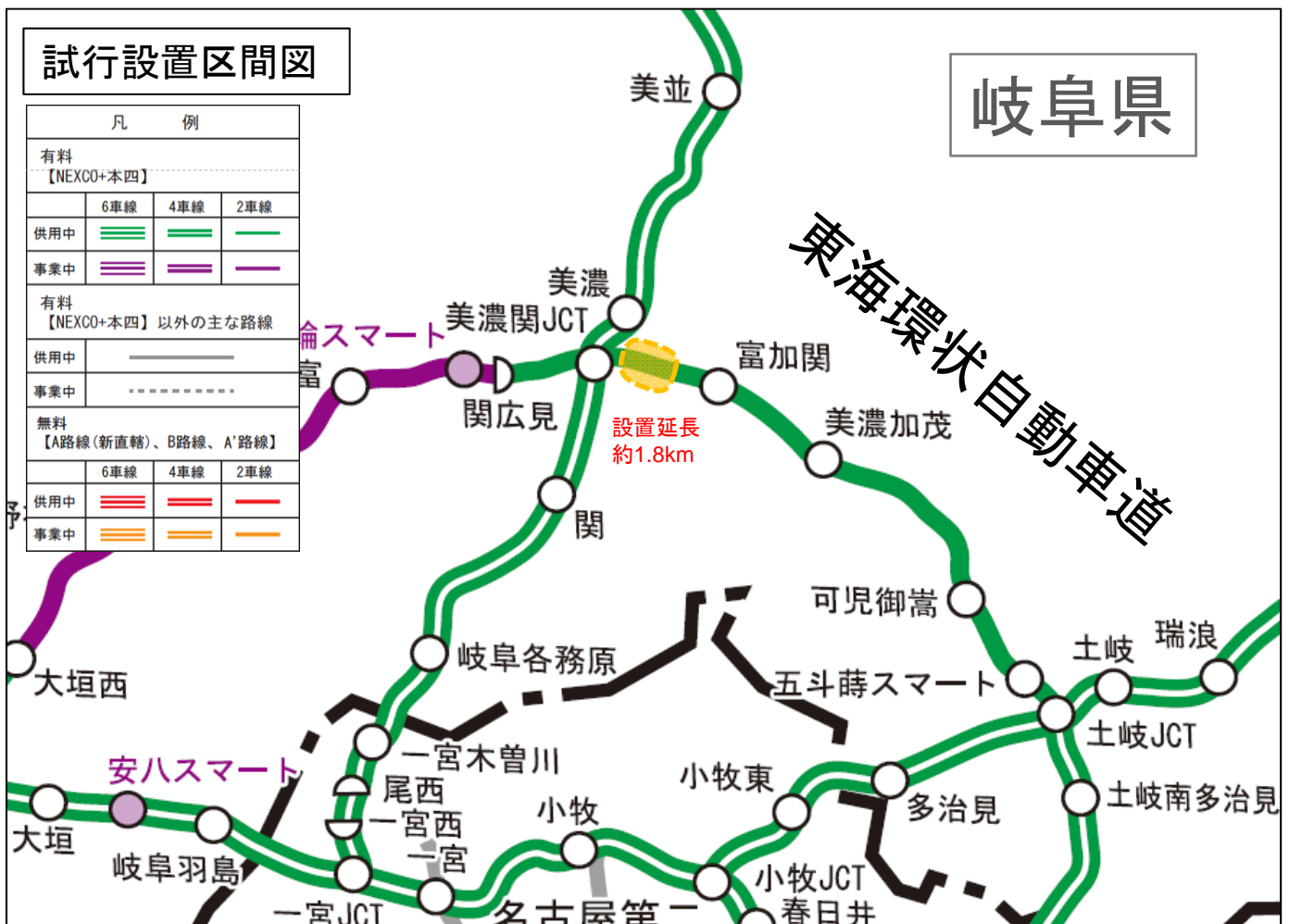
事故等の緊急時には、人力のみで容易にワイヤロープと支柱を取り外し、どこでも開口部を設けることが可能。



人力で開口部が設置可能

ワイヤロープの試行設置区間(東海環状道)

- ・路線名 : 東海環状自動車道
- ・設置箇所 : 富加関IC～美濃関JCTのうち約1.8km



ワイヤロープの試行設置区間(紀勢道)

- ・路線名 : 紀勢自動車道
- ・設置箇所 : 勢和多気IC～大宮大台ICのうち約1.1km



凡例
 ワイヤロープ試行設置区間

ワイヤロープの試行設置区間(舞鶴若狭道)

- ・路線名 : 舞鶴若狭自動車道
- ・設置IC間 : 若狭三方IC～若狭美浜ICのうち約1.5km



凡例
 ワイヤロープ試行設置区間

暫定二車線の高速道路：ワイヤロープ試行設置箇所

参考資料

